

県立多治見病院 緩和ケアチーム通信

発行：県立多治見病院 緩和ケアチーム 2014年 6月号 VOL.39

文責：奥村 あすか・夏目 紗織 編集：櫻田 亜矢子

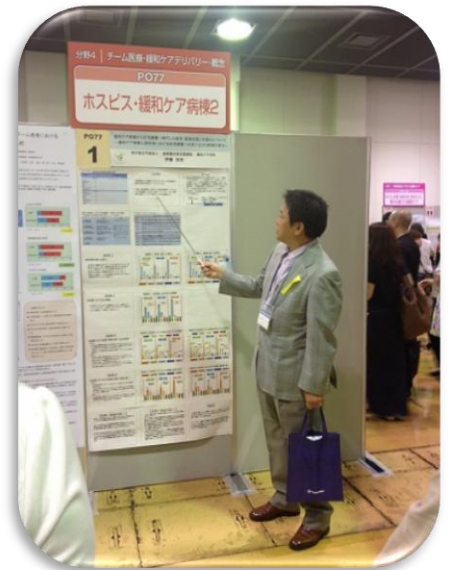
今年も6月20、21日に第19日本緩和医療学会学術大会に参加してきました。

今年の学会メインテーマは、「これでいいのだ！」で、患者や家族がその一瞬、そしてその日々を「これでよかった、これでいいのだ！」と思えるような緩和ケアを提供していくという思いが込められたテーマでした。

広い会場、多くの人々の参加で会場を渡り歩くのは大変でしたが、多くの方々の臨床の経験知を聞くことができ、日々のケアに繋げていきたいと、励まされた2日間でした。

また、緩和ケアチームから伊藤浩明医師、志津匡人医師の2名が発表をされました。写真は発表中の伊藤医師です。

私たちも、日々の臨床の経験知を言葉として残し、知を積み重ねていくことができるよう努力しています。



奥村 あすか



管理栄養士の夏目です。

当院では2013年4月より抗がん剤治療等で食思不振の方へ『なごみ食』という食種を提供しています。ラーメンと餃子、ナポリタンなどのメニューがあります。1品の量を減らし、果物やデザートをつけるなど、食べる意欲が湧くようバラエティーに富んだ内容となっています。患者さんから『なごみ食に変更することで完食できました。ありがとうございました。』という嬉しい意見をもらうことができました。提供を始めて約1年が経過していますが、入院初日からなごみ食がオーダーされるなど一つの食種として徐々に浸透している印象をうけます。食事が進まず困っている患者さんに一度お試しください。



平成26年度 第3回緩和ケア講演会を行いました。

平成26年6月12日に第3回緩和ケア講演会を行いました。

今回の講演会では、河上クリニック医師 鷲津潤爾先生にお話をいただきました。在宅専門医の鷲津先生は、初めての診察時に、患者さんの病歴、人生歴などとにかく聞く。話を聞いてもらえることが在宅療養中の患者さんや支えるご家族の不安を軽減し、最後まで在宅で過ごすことができるのだと感じました。



第4回 緩和ケア講演会

7月の講演会予定

日時：平成26年7月10日 18時～19時半

場所：中央診療本館3階講堂

内容：『緩和ケアにおける食事の工夫と必要性～食べることでの栄養支援～』

講師：岐北厚生病院 森 範子先生・在宅総合医療クリニック 安田 和代先生

ご参加お待ちしております☆

